

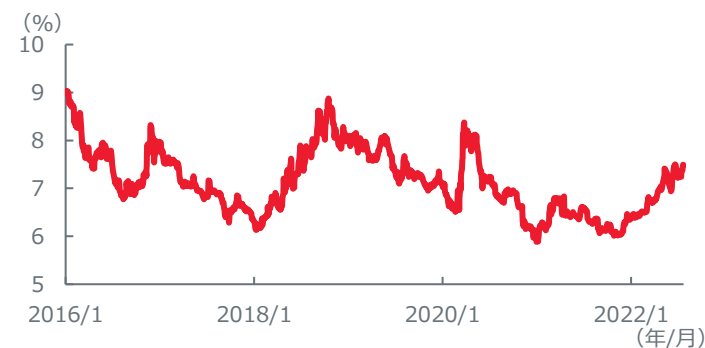
(対象期間：2022/7/18～2022/7/22)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移  
(2016年1月4日～2022年7月22日)

## 【株式市場】

18日のインドネシアの株式市場は小幅に上昇しました。19日は石炭や金属などの商品関連株が堅調に推移し上昇しました。20日は大手銀行株や、インターネット通販大手株などのハイテク銘柄などがけん引し、大幅上昇となりました。21日、インドネシア中央銀行（BI）は政策金利を据え置き、市場に安心感が広がりましたが、自動車関連株や建設機械リース株などに利益確定売りが見られ小幅下落となりました。22日は引き続き鉱業株やハイテク株が堅調に推移し小幅上昇となりました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

2022/7/15	2022/7/22	変化率
6,651.91	6,886.96	+3.53%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2022年7月22日)

## 【債券市場】

18日は翌日の国債入札を前に横ばいとなりました。19日の国債入札では10年債には堅調な需要がみられましたが、全体的に積極的な応札を手控える参加者が多く入札結果は低調となり、利回りは上昇（価格は下落）しました。20日はBIの金融政策決定会合を前に様子見姿勢が強まり、利回りはやや上昇しました。21日、BIは市場の予想通り政策金利を据え置きました。ペリーBI総裁は会見で、利上げには慎重な姿勢を示した一方で、金融正常化に向けてインフレの抑制とルピアの安定策を強化すると述べました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

2022/7/15	2022/7/22	変化幅
7.387	7.485	+0.098

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2022年7月22日)

## 【為替市場】

週半ばまで、米ドル高の一服感を背景にルピアは上値の重い展開となりました。しかし、21日のBIの政策金利の据え置き発表を受けて、ルピアは対米ドルで下落しました。ペリーBI総裁は会見で、利上げには慎重な姿勢を示した一方で、金融正常化に向けてインフレの抑制とルピアの安定策を強化すると述べました。22日は米国債の利回り低下などを背景に米ドルが全般的に弱含みとなり、ルピアは対米ドルで上昇しました。ルピアは前週末比で対米ドル、対円ともに下落しました。

2022/7/15	2022/7/22	変化率
0.9246	0.9145	-1.09%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。